

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

年 月 日

千葉市長 殿

千葉県柏市坂祭111-1

届出者 株式会社早出特打鍍金工業
代表取締役 宮咲 高雪

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社早出特打鍍金工業 千葉工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		千葉市中央区中央1-100	※ 受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	※ 施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※ 審査結果	
	△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△ 特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△ 特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△ 汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△ 排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△ 排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△ 排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△ 有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△ 有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△ 汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△ 特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△ 特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

特定地下浸透水を地下へ浸透させる場合は記入する。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	下水道の合流地域又は有害物質貯蔵指定施設の場合は記入	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、街頭する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4をすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①酸洗槽	②酸洗浄槽
特定施設番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設	65 酸又はアルカリによる表面処理施設
型式	連続式	連続式
構造	鋼板製	鉄製、内部を塩化ビニールライニング 構造図は別図〇のとおり
主要寸法	1000・1500・900 (W)・(L)・(H)	酸浸槽 1m×1m×1.5m
能力	50m ³ /日	ねじ 3,000個/日
配置	事業場平面図のとおり	同左
設置年月日	平成 7年 2月 6日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	平成26年 6月 16日
工事完成予定年月日	年 月 日	平成26年 8月 19日
使用開始予定年月日	年 月 日	平成26年 8月 20日
その他参考となるべき事項	既設	新設 床面：厚さ100mmのコンクリート 周囲：側溝を設け、流出を防止 (別図〇のとおり)

有害物質使用特定施設の場合には、床面及び周囲の構造等を記載すること。
防液堤等については、容量を記入すること。

備考 1 配置の欄に記述する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
2 その他参考となるべき事項が有害物質使用特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における 施設番号	②酸洗浄槽	
特定施設番号及び名称	65 酸またはアルカリによる 表面処理施設	
設 備	地上配管、 地下配管（トレンチ構造） 排水溝、ためます×2	
構 造	配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ50mm トレンチ コンクリート製、厚さ50mm	検知設備を有する場合にはそ の旨記載すること。
主 要 寸 法	配管 直径100mm×30m 排水溝 幅300mm×深さ200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm トレンチ 幅300mm×深さ200mm×5m	
配 置	事業場平面図のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成26年 6月 16日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成26年 8月 19日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成26年 8月 20日	年 月 日
その他参考と なるべき事項		有害物質を含む水が流れない場 合（定量下限値未満）には、構造 等に関する基準が適用されない ので、その旨記載すること。

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	①酸洗槽		②酸洗浄槽		
特定施設番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設		65 酸またはアルカリによる表面処理施設		
設置場所	めっき工場1階 別添 事業場平面図のとおり		同左		
操業の系統	別図のとおり		同左		
使用時間間隔	連続(8:30~17:30)		週に2~3日程度使用し、 使用時間帯は不規則		
1日当たりの使用時間	9時間		4時間		
使用の季節変動	なし		なし		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	硫酸(50%水溶液として使用) 900kg		<前処理行程> 硝酸(15%水溶液として使用) 300kg <〇〇処理> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	3.0~4.5	3.0~4.5	5.8~8.6	5.8~8.6
	BOD	15	20	10	15
	COD	200	350	10	15
	SS	35	55	15	20
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			0.06	1.2	
汚水等の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	30	50	10	20	
その他参考となるべき事項	有害物質を含む廃液については、1日1回混酸廃液タンクへ排出し保管。その後産廃として処理				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	③排水処理施設				④合併浄化槽				
処理施設の設置場所	別添 事業場平面図のとおり				同左				
設置年月日	平成 7年 2月 6日				平成15年 6月 16日				
工事着手予定年月日	年 月 日				年 月 日				
工事完成予定年月日	年 月 日				年 月 日				
使用開始予定年月日	年 月 日				年 月 日				
種類及び型式					生物濾過方式				
構造					FRP製				
主要寸法					3400×20000×3300mm				
能力					10m ³ /日(30人槽)				
処理の方式					生物濾過式				
処理の系統	平成6年12月1日の				別図のとおり				
集水及び導水の方法	届出どおり				別図のとおり				
使用時間間隔					連続				
1日当たりの使用時間					24時間				
使用の季節変動					なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量					次亜塩素酸カルシウム(滅菌用) 0.6kg				
汚水等の汚染状態及び水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	3.0~4.5	5.8~8.6	3.0~4.5	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
	BOD	15	8	20	10	100	10	150	15
	COD	200	8	350	10	50	10	75	15
	SS	35	8	55	10	100	15	100	20
	銅	10	不検出	20	1				
	大腸菌群数					10000	<3000	10000	<3000
	全窒素					40	10	40	15
	全りん					5	0.5	5	1
量(m ³ /日)	30	30	50	50	5	5	10	10	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	平成6年12月1日の届出どおり				浄化槽汚泥 0.3t/月 市指定の業者に委託処分				
排出水の排出方法	道路側溝→都川放流				道路側溝→都川放流				
その他参考となるべき事項	既設				既設				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定施設の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		③排水処理施設		④合併浄化槽	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
	BOD	8	10	10	15
	COD	8	10	10	15
	SS	8	10	15	20
	大腸菌群数			<3000	<3000
	全窒素			10	15
	全りん			0.5	1
	排水水の量	通常	最大	通常	最大
	(m ³ /日)	30	50	5	10
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別		COD					
業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大
189	8	10	30	50			50	0.24	0.5
232	10	15	5	10			10	0.05	0.15
合計			50	60			60	0.29	0.65
種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
合計									
その他 べき参考 事項とな	<p>総量規制基準</p> <p>①[189] = (Cco × Qco + Cci × Qci + Ccj × Qcj) / 1000 = (0 × 0 + 0 × 0 + 20 × 50) / 1000 = 1.0kg/日</p> <p>②[232] = (Cco × Qco + Cci × Qci + Ccj × Qcj) / 1000 = (0 × 0 + 0 × 0 + 10 × 10) / 1000 = 0.1kg/日</p> <p>①+②=1.1kg/日 <u>1.1kg/日</u></p>								

総排水量が50(m³/日)以上である東京湾流域の事業場については、総量規制基準を算定すること。
 (総量規制基準については、「千葉県ホームページ【<http://www.pref.chiba.lg.jp/suiho/ha isui/koujou/souryou/>】」を参照。)

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

「窒素」、「りん」についても同様に記入する。

<p>用水及び排水の系統</p>	<p style="text-align: center;">別添 事業場平面図のとおり</p>		
<p style="text-align: center;">用途別 用水使用量</p>	<p style="text-align: center;">用途</p>	<p style="text-align: center;">使用水</p>	<p style="text-align: center;">用水使用量 (m³/日)</p>
	<p style="text-align: center;">製品洗浄水</p>	<p style="text-align: center;">上水道</p>	<p style="text-align: center;">通常 40 (最大 60)</p>
	<p style="text-align: center;">生活用水</p>	<p style="text-align: center;">上水道</p>	<p style="text-align: center;">通常 5 (最大 10)</p>

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①表面処理施設	
特定施設番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設	
型 式	浸清水式	
構 造	鉄槽（8槽） ステンレス槽（4槽）	
主 要 寸 法	1000×1000×1000mm （12槽）	
能 力	50m ³ /日	
配 置	別添 事業場平面図のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成25年 6月 16日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成25年 8月 19日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成25年 8月 20日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	①表面処理施設				
特定施設番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設				
設置場所	別添 事業場平面図のとおり				
操業の系統	別図のとおり				
使用時間間隔	連続 (8:00~16:00)				
1日当たりの使用時間	8時間				
使用の季節変動	なし				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	硫酸 (50%水溶液として使用) 30Kg クロム酸 (40%水溶液として使用) 60Kg				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	Cr⁶⁺	6	7		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	通常	最大	通常	最大
	10		15		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

工場又は事業場における施設番号	②クロム廃水処理装置							
処理施設の設置場所	別添事業場平面図のとおり							
設置年月日	年 月 日							
工事着手予定年月日	平成25年 6月 16日							
工事完成予定年月日	平成25年 8月 19日							
使用開始予定年月日	平成25年 8月 20日							
種類及び型式	E K 9							
構造	鋼板製							
主要寸法	L4185×W1695×H1360							
能力	15m³/日							
処理の方式	還元吸着							
処理の系統	別図のとおり							
集水及び導水の方法	別図のとおり							
使用時間間隔	連続(8:00~16:00)							
1日当たりの使用時間	8時間							
使用の季節変動	なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	亜炭(クロム吸着用) 12Kg 硫酸(pH調整用) 3Kg 苛性ソーダ 1.5kg							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大				
		処理前	処理後	処理前	処理後			
	pH BOD SS 大腸菌群数							
	Cr ⁶⁺	6	不検出	7	不検出			
量(m ³ /日)	10	10	15	15				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	工程系汚泥 脱水処理後、業者に委託							
排出水の排出方法	浸透ますにより地下浸透							
その他参考となるべき事項								

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置		別図のとおり							
浸透施設の数		1							
浸透水	工場又は事業場における施設番号	⑤浸透ます							
	量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		17	25						
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>別添 事業場平面図のとおり</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>製品処理, 洗浄等</p>	<p>上水道</p>	<p>通常 10 (最大 15)</p>
	<p>生活用水</p>	<p>上水道</p>	<p>通常 7 (最大 10)</p>
	<td data-bbox="775 1265 1046 1332"> <td data-bbox="1046 1265 1396 1332"> </td> </td>	<td data-bbox="1046 1265 1396 1332"> </td>	
	<td data-bbox="775 1332 1046 1400"> <td data-bbox="1046 1332 1396 1400"> </td> </td>	<td data-bbox="1046 1332 1396 1400"> </td>	
	<td data-bbox="775 1400 1046 1467"> <td data-bbox="1046 1400 1396 1467"> </td> </td>	<td data-bbox="1046 1400 1396 1467"> </td>	
	<td data-bbox="775 1467 1046 1529"> <td data-bbox="1046 1467 1396 1529"> </td> </td>	<td data-bbox="1046 1467 1396 1529"> </td>	